

## 里山・里池ゾーン

### 里山が育んだ水利ネットワーク

加古川市西北部および高砂市の丘陵地に位置し、北部を山地に囲まれ南西部に農地が広がっています。

大きな河川の少ないこの地域では、背後の里山・山地（高御位山、大藤山、城山等）から導水し、人工的にため池を築いて水をためることが必要でした。生活と密着したため池や水路の痕跡が見られるのもこのゾーンの特徴です。

谷間に農地が広がるこの地域は、山の斜面をうまく利用し水を貯める。堤も一方だけ築けばよいことも利点で、“谷ある所に必ず池あり”といった状況です。谷が深い場合は、複数の池を組み合わせて造る場合が多く、代表的なものに志方地区の七ツ池があります。



写真

## ゾーンの歴史

志方地区のため池築造の歴史は、記録が残っているもので原の大池が天正年間（1573～1591）とされています。この頃から新田開発とともにため池の築造がなされたようです。平安時代中期頃から荘園制度が進むにつれ、地域一帯は荘園化され、志方荘の名が残っています。（当時の志方荘は、現在の志方町全域に姫路市の一部を加えたものと言われています。）

高砂・荒井・伊保崎一帯で古くから行われた綿作は、幕末には全田畑の約50%、畑地だけでは実に90%以上が綿作付けで、阿弥陀町長尾では、元禄期に農作物として木綿が栽培されていた記録があります。特に盛んになったのは文政年間（1818～1830）からで、姫路藩の木綿専売制実施により農家の副業として栽培されていました。

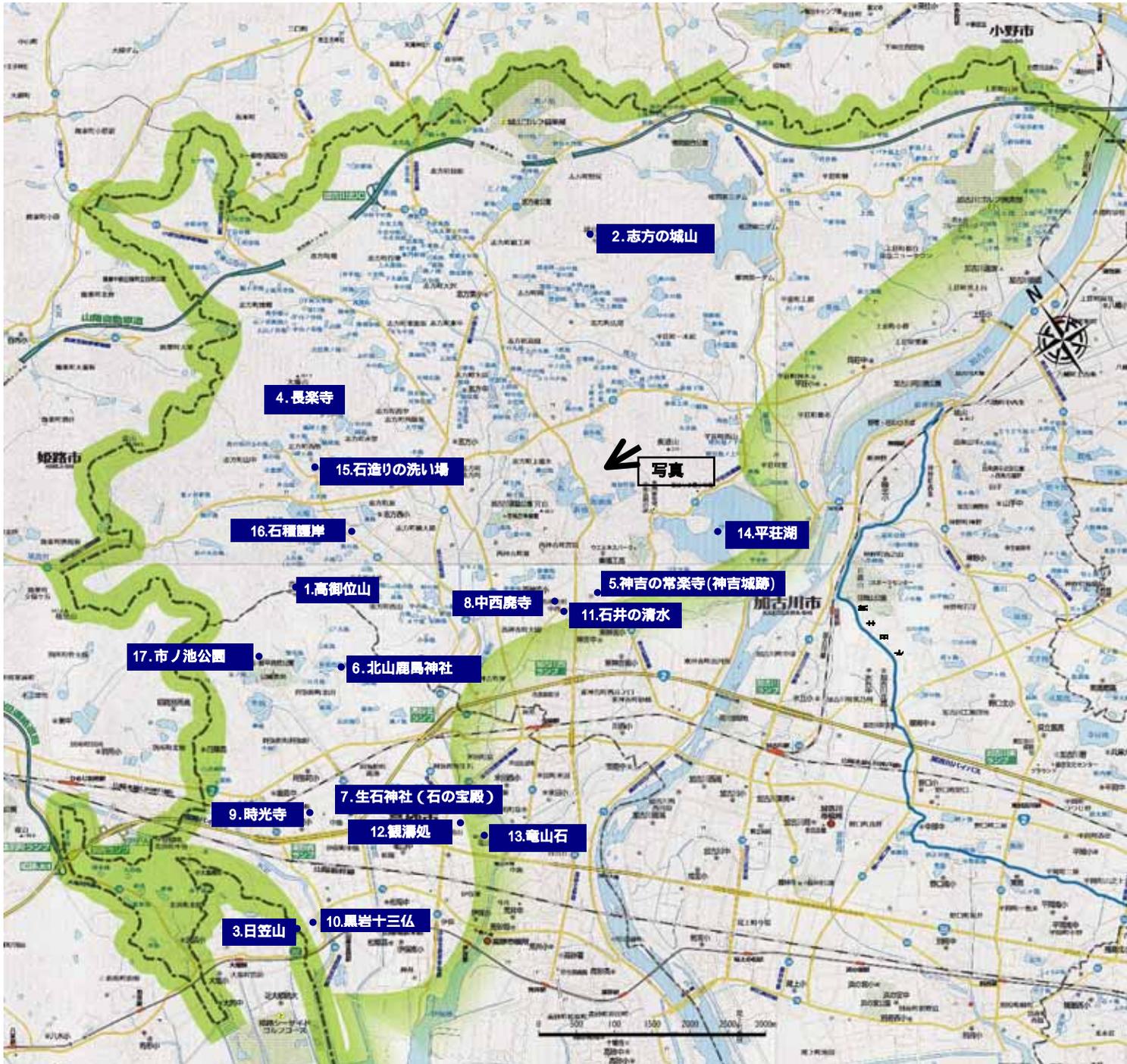
高砂市北部にある高御位山は、別名播磨富士とも呼ばれ、山頂には巨岩が積み重なり神代の遺跡といった感があります。



市ノ池



七ツ池



## ゾーンの主な見どころ

	資源（展示物）	所在地	概要
1	たかみくらやま 高御位山	加古川市志方町 高砂市阿弥陀町	加古川市と高砂市との市境にある山で、「播磨富士」とも呼ばれている。標高は304m。古くから山全体を御神体とした山岳信仰の名残を今も伝えている。山頂には、高御位山神社や大正10年にグライダーで関西初飛行を成し遂げた志方町出身の渡辺信二氏の偉業をたたえる「飛翔の碑」が建っている。
2	志方の城山	加古川市志方町	標高271.6m。室町時代に赤松一族が築き、約170年間続いた城跡がある。兵庫県観光百選桜名所にも選ばれている。
3	日笠山	高砂市曾根町と 姫路市大塩町	標高62.4m。日笠山は曾根天満宮の西に位置する小高い山である。景観もすばらしく、遠くは淡路島や家島諸島が見渡せる。ボタン桜の名所として知られ、シーズンには大勢の人々が訪れる。
4	長楽寺	加古川市志方町	「谷の地藏」として知られ、安産の札所。桜の名所。本尊の「木造地藏菩薩半跏像」は国の重要文化財（創建713年）。
5	神吉の常楽寺 （神吉城跡）	加古川市東神吉町	天正6年（1578）神吉頼定の城兵二千が守る神吉城を、織田信忠・羽柴秀吉の三万の大軍が攻め、激戦の末、落城した。
6	北山鹿島神社	高砂市阿弥陀町	遠く聖武天皇の勅願によって国分寺と、国分寺の東院として大日寺が建立された時、その鎮護の神として奉祀された。一人一願心を定めてお詣りする時、その願いは必ずかなえられる“一願成就の神”として有名。
7	おおしこ 生石神社 （石の宝殿）	高砂市阿弥陀町	横6.4m、高さ5.7m、奥行7.2mの巨大な石造物がある。「石の宝殿」と呼ばれ、水面に浮かんでいるように見えるところから「浮石」ともいわれているが、多くの謎につつまれている。
8	中西廃寺	加古川市西神吉町	西神吉町中西にある寺の跡で、出土する古瓦から白鳳時代のものだといわれている。
9	時光寺	高砂市時光寺町	「時光寺への三度の参詣は、善光寺への一度の参詣に当たる」といわれている。
10	黒岩十三仏	高砂市曾根町	日笠山東側に、通称「黒岩さん」と呼ばれる十三体の仏像を岩に刻んだ磨崖仏がある。上段に五仏、下段に八仏の座像が刻まれている。
11	石井の清水	加古川市西神吉町	石井の清水は、弘法大師が杖でつついたら突然きれいな水が湧いてきたといわれる清水で、弘法大師の井戸とも呼ばれている。石井の清水の名称は、方3尺許の石の井戸枠に直径1尺2寸の井筒が置かれていることから由来していると言われ、7世紀ころの創建とされる中西廃寺の露盤と同筒状の刹（土）が使われているといわれている。
12	かんとうしよ 観瀾処	高砂市竜山	加茂山の中腹にある巨岩に「観瀾処」の文字を刻んだ碑石で、播磨灘を眺望できる。

13	竜山石	高砂市阿弥陀町	今は宝殿石と地元では呼ぶ。この石材は比較的軟質で加工しやすく、古くは仁徳天皇陵などの石棺にも使用され、今でも建築・造園用の石材として広く利用されている。垂直に切り立った石切場の岩肌は、どこからでも眺められ、高砂の風景の一つとして親しまれている。
14	平荘湖	加古川市平荘町 ～東神吉町	東播磨工業地帯の工業用水の安定供給を目的として建設されたダムによってできた人造湖。湖面にはひょうたん型の島が浮かび、四季の花や渡り鳥など自然景観が美しい。周回道路では、多くの人がジョギングやウォーキングを楽しんでいる。
15	石造りの洗い場(犬立池)	加古川市志方町 (西牧)	ため池の護岸部に石造りの洗い場が整備されている。ため池と築造当時の生活との関わりを垣間見ることができる。
16	石積護岸(奥の池)	加古川市志方町 (成井)	自然石の石積工法によって築かれた堤体は、地形に沿った曲線で築堤されており、当時の土木技術の高さが伺える。
17	市ノ池公園	高砂市阿弥陀町	阿弥陀町地徳の山麓に位置し、高御位山一帯の尾根筋に包まれた自然豊かな公園で、スポーツ・レクリエーション施設に加え、みどりの相談所が設置されている。



石造りの洗い場(犬立池)



石積護岸(奥の池)



市ノ池公園



高御位山